

平成29年度

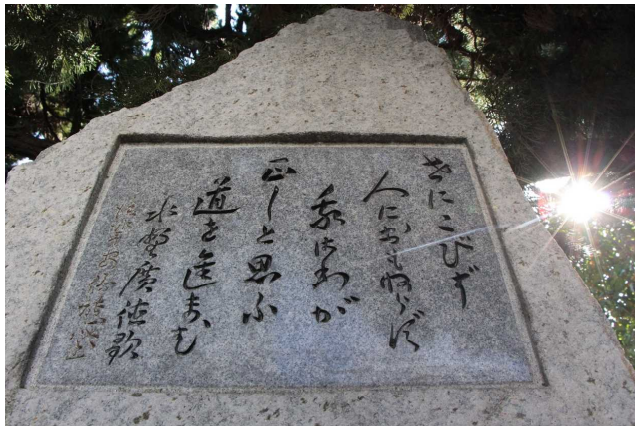
全国私立中学高等学校

全国私学教育研究集会愛媛大会

実施案内

時代を先取りする私学

～こころざしは高く、根は深く～



会 期 平成29年10月19日（木）・20日（金）の2日間

会 場 松山全日空ホテル（愛媛県松山市）

主 催 一般財団法人私学研修福祉会 協 力 一般財団法人日本私学教育研究所

実 施 中国・四国地区私立中学高等学校連合会／愛媛県私立中学高等学校連合会

後 援 愛媛県／松山市／日本私立中学高等学校連合会

も く じ

ご案内	1
大会役員等一覧	2
実施概要	4
全体集会	6
部会のご案内	9
1 私学経営部会	10
2 教育課程部会	12
3 法人管理事務運営部会	14
4 特色教育部会	16
5 生徒指導部会	18
6 学習及び進路指導部会	20
運営委員・専門委員・客員研究員一覧	22
会場のご案内	24
参加申込みと参加費の納入について	25
教育懇談会・宿泊の申込みについてのご案内	26
参加申込書	
教育懇談会および宿泊申込書	

※本実施案内中の中学校と高等学校の併設校の表記につきましては「〔学校名〕中学・高等学校」、
として掲載しておりますのでご了承下さい。

ご 案 内

《ようこそ愛媛へ》

俳句のまち、文学のまち、出湯のまち、ようこそ松山にお越しくございました。

「春や昔 十五万石の 城下哉」と松山を詠んだ句

「初汐や 松に浪こす 四十島」と夏目漱石の小説「坊っちゃん」に登場するターナー島(瀬戸内海に浮かぶ小島「四十島」)を詠んだ句

いずれも愛媛が生んだ正岡子規の俳句であります。

平成 29 年度の「全国私学教育研究集会愛媛大会」のテーマは、「時代を先取りする私学～こころざしは高く、根は深く～」です。

私立学校は、それぞれの独自の建学の精神のもと、「親と子と先生」による三位一体の教育を実践し、日々学校づくりに励んでいます。

わたくしたちは、「私学は一つ」「教育は私学から」の理念と誇りを持ち、個々の学校の特長や個性を堅持しつつ、私学全体で情報を共有し、課題を解決すべく努力を重ねています。

そして、アインシュタインの「We exist for our fellow-men.」（人間は他人のために存在する）という名言のごとく、私立学校は、社会や時代の要請に応え、学問、スポーツ、さらには、文芸等各分野で数多くの人材を輩出してきました。

今後も日本、そして世界で活躍できるグローバル人材を育成するために、私立学校には、新たなビジョンと高いこころざしを持ちながら、常に **Change(変革)& Challenge** (挑戦) を重ねていくことが求められています。

今回のテーマ「時代を先取りする私学」は、この **Change & Challenge** を念頭に置いて設定しました。

1 日目の全体集会では、俳句のまち、松山市在住の俳人、夏井いつき先生をお迎えし、「夏井いつきの句会ライブ～認めあう、伝えあう、俳句の力～」と題してご講演いただきます。また、日本私立中学高等学校連合会及び一般財団法人日本私学教育研究所から、「教育政策と私学情勢について」と題し、中央情勢報告を行います。

2 日目は、私立学校の経営・教育の柱となる 6 つの部会を設け、タイムリーな課題研究テーマを用意いたしました。皆様が活発な議論を展開され、実り多き大会となることを期待しております。

平成 29 年 5 月

平成 29 年度全国私学教育研究集会愛媛大会

実行委員長 中 村 道 郎

(中国・四国地区私立中学高等学校連合会 会長)

(愛媛県私立中学高等学校連合会 会長)

大会役員等一覧

1. 大会役員（順不同）

高 田 貢	一般財団法人私学研修福祉会 前 学 校 法 人 工 学 院 大 学	理事長 理事長
吉 田 晋	一般財団法人日本私学教育研究所 富 士 見 丘 中 学 ・ 高 等 学 校	理事長 理事長・校長
平 方 邦 行	一般財団法人日本私学教育研究所 工 学 院 大 学 附 属 中 学 ・ 高 等 学 校	副理事長 校長
山 中 幸 平	一般財団法人日本私学教育研究所 学 校 法 人 山 中 学 学 園	副理事長 理事長
中 川 武 夫	一般財団法人日本私学教育研究所 蒲 田 女 子 高 等 学 校	理事・所長 顧問
長 塚 篤 夫	一般財団法人日本私学教育研究所 順 天 中 学 ・ 高 等 学 校	理事・全国集会総括責任者 校長
鈴 木 康 之	一般財団法人日本私学教育研究所 水 戸 女 子 高 等 学 校	理事・全国集会副総括責任者 理事長・校長

2. 実行委員・指導員（順不同）

委員長 中 村 道 郎	中国・四国地区私立中学高等学校連合会 愛媛県私立中学高等学校連合会 愛 光 中 学 ・ 高 等 学 校	会長 会長 校長
副委員長 山 中 幸 平	中国・四国地区私立中学高等学校連合会 一般財団法人日本私学教育研究所 学 校 法 人 山 中 学 学 園	副会長 副理事長 理事長
委 員 村 崎 正 人	徳島県私立中学高等学校連合会 学 校 法 人 村 崎 学 学 園	会長 理事長
小 野 眞 澄	香川県私立中学高等学校連合会 香 川 県 大 手 前 中 学 ・ 高 等 学 校	会長 校長
吉 田 圭 一	高知県私立中学高等学校連合会 明 徳 義 塾 中 学 ・ 高 等 学 校	会長 校長
野 田 修	一般社団法人鳥取県私立学校協会中学高等学校部 学 校 法 人 鳥 取 家 政 学 学 園	会長 理事長
大多和 聡 宏	島根県私立中学高等学校連盟 開 星 中 学 ・ 高 等 学 校	会長 理事長・校長
高 月 賢太郎	岡山県私学協会 倉 敷 翠 松 高 等 学 校	会長 校長
田 中 清 峰	広島県私立中学高等学校協会 学 校 法 人 広 陵 学 学 園	会長 理事長
古 田 圭 一	山口県私立中学高等学校協会 学 校 法 人 早 鞆 学 学 園	会長 理事長
永 井 博	愛媛県私立中学高等学校連合会 新 田 高 等 学 校	大会運営総括委員長 校長
中 川 武 夫	一般財団法人日本私学教育研究所 蒲 田 女 子 高 等 学 校	理事・所長 顧問
長 塚 篤 夫	一般財団法人日本私学教育研究所 順 天 中 学 ・ 高 等 学 校	理事・全国集会総括責任者 校長
鈴 木 康 之	一般財団法人日本私学教育研究所 水 戸 女 子 高 等 学 校	理事・全国集会副総括責任者 理事長・校長

3. 運営総括委員・指導員（順不同）

委員長

永井 博 新田 高等学校 校長

副委員長

谷本 勝幸 帝京第五高等学校 校長

委員

渡部 正治 松山聖陵高等学校 校長

谷本 賢治 松山東雲中学・高等学校 校長

末廣 久行 済美高等学校 校長

芳野 敬三 聖カトリク学園高等学校 校長

濱元 一馬 今治明德中学・高等学校 校長

窪田 利定 済美平成中等教育学校 校長

実施概要

- 1 研究目標 時代を先取りする私学～こころざしは高く、根は深く～
- 2 会 期 平成29年10月19日（木）・20日（金）の2日間
- 3 会 場 松山全日空ホテル
- 4 募集人員 500名
- 5 基本日程

時間 月日	9	10	11	12	13	14 40	15 05	16 30	17	18
第1日 10月19日 (木)				受 付	開 会 式	※	報 告	全 体 会 記念講演		教 育 懇談会
第2日 10月20日 (金)	受 付	部 会		昼 食	部 会			閉 会 式		

※は愛媛県学校活動紹介

(注)第2日の部会日程につきましては、部会によっては、若干異なる場合がございます。詳細は各部会実施概要をご覧ください。

6 全 体 会

記念講演 「夏井いつきの句会ライブ
～認めあう、伝えあう、俳句の力～」
俳 人 夏 井 いつき

愛媛県私立学校活動紹介「ヒップホップダンス」

新田高等学校 ダンス同好会

報 告 「教育政策と私学情勢について」

日本私立中学高等学校連合会 会 長 吉 田 晋
一般財団法人日本私学教育研究所 所 長 中 川 武 夫

7 部 会

1 私学経営部会

(募集人員 150名)

時代を先取りする学校づくり

2 教育課程部会

(募集人員 110名)

輝く未来を築くための私学教育の質的充実に向けて

3 法人管理事務運営部会

(募集人員 60名)

学校を取り巻くリスクとその対応～坂の上の雲のまちからの発信～

4 特色教育部会

(募集人員 60名)

私学にこそできる特色教育の実践

5 生徒指導部会

(募集人員 60名)

いつでも、どこでも、誰でもできる声かけ生徒指導

6 学習及び進路指導部会

(募集人員 60名)

こころざし高く未来を拓く生徒の育成を目指して

8 参加費 15,000円(宿泊費・教育懇談会費は含みません。)

9 参加申込 本案内の25ページを参照いただき、10月6日(金)までに参加申込みをお願いします。

10 問 合 先 一般財団法人日本私学教育研究所
「全国私学教育研究集会愛媛大会」担当
〒102-0073 東京都千代田区九段北4-3-8 市ヶ谷 UN ビル6階
TEL 03 (3222) 1621 FAX 03 (3222) 1683
ホームページ <http://www.shigaku.or.jp/>

●傷害保険について

本大会期間中の参加者等の傷害保険には、加入いたしませんのでご承知おき下さい。

教育懇談会

全体集会終了後、18時頃より、同会場にて行います。

参加費 8,000円

※参加をご希望の方は、26ページ「教育懇談会・宿泊の申込みについてのご案内」をご覧ください。

全 体 集 会

- 1 日 時 平成29年10月19日(木) 13時00分～17時00分
- 2 会 場 松山全日空ホテル 本館4階 ダイヤモンド ボールルーム
- 3 開 会 式 13時00分～13時30分
 - (1) 開会のことば
 - (2) 主催者挨拶
 - (3) 実行委員長挨拶
 - (4) 来賓祝辞
 - (5) 次期開催地区代表挨拶
 - (6) 閉式のことば

- 4 全 体 会 13時40分～17時00分
愛媛県私立学校活動紹介
「ヒップホップダンス」

新田高等学校 ダンス同好会

報 告 「教育政策と私学情勢について」

日本私立中学高等学校連合会 会 長 吉 田 晋
一般財団法人日本私学教育研究所 所 長 中 川 武 夫

記 念 講 演 「夏井いつきの句会ライブ～認めあう、伝えあう、俳句の力～」

俳 人 夏 井 いつき

※記念講演の録画・録音・写真撮影は禁止とさせていただきますのでご了承下さい。

記念講演

「夏井いつきの句会ライブ～認めあう、伝えあう、俳句の力～」



俳 人 夏 井 い つ き <なつ い つ き>

プロフィール

愛媛県松山市在住。8年間の中学校国語教諭を経て、俳人へ転身。俳句集団「いつき組」組長。平成27年5月、俳都松山大使に就任。

【主な活動】創作活動に加え、全国の小中高校生対象の、俳句の授業〈句会ライブ〉を展開しつつ、教員・PTA 対象の講演活動も精力的にこなしている。全国高校俳句選手権「俳句甲子園」の創設や「俳都松山宣言」起草に携わるなど幅広く活動中。

NHK 教育テレビ「天才てれびくんワイド(俳句道場・俳句大賞)」(1999～2001年)出演。愛媛大学附属中学校講師、愛媛大学教育学部講師、松山看護専門学校講師、愛媛県民文化会館理事、伊予郡松前町教育委員などを歴任。現在は、テレビ、ラジオのレギュラー出演の他、松山市の俳句サイト「俳句ポスト365」、朝日新聞愛媛俳壇、愛媛新聞小中学生俳句欄「集まれ！俳句キッズ」の選者をつとめる。愛媛新聞カルチャー教室講師。TBS 系バラエティ「プレバト!!」俳句コーナー、NHK 俳句（第3週選者）に出演中。

【受賞歴】昭和63年国民文化祭教育長賞。平成6年「第八回俳壇賞」。平成12年「第五回中新田（なかにいだ）俳句大賞」。平成11年黒田杏子主宰「藍生」俳句会結社賞「第四回藍生賞」。平成14年南海放送ラジオ『夏井いつきの一句一遊』：日本民間放送連盟賞 ラジオエンターテイメント部門優秀賞。平成17年NHK四国ふれあい文化賞。著書『100年俳句計画』にて第三回 藍華賞。

【著書】吟行記『それ行けミーハー吟行隊』（創風社出版）、実践記録『夏井いつきの俳句の授業・子供たちはいかにして俳句と出会ったか』（創風社出版）、紀行・俳句とエッセイ『森になった街』（新居浜市観光協会）、読み物辞典『絶滅寸前季語辞典』『続・絶滅寸前季語辞典』（東京堂出版）、内海村ポストカードブック『うみいづ』、エッセイ『夏井いつきのスパイシーママ』（愛媛新聞社）、第二句集『伊月集 梟』（マルコボ・コム）、『100年俳句計画』（そうえん社）、『絶滅危急季語辞典』（ちくま文庫）、『子規365日』（朝日新聞出版）、『俳句の授業ができる本～創作指導ハンドブック～』日本俳句教育研究会・三浦和尚・夏井いつき編著（三省堂）、『俳優勝村政信×俳人夏井いつき付句のある往復Eメール書簡集』（マルコボ・コム）、『超辛口先生の赤ペン俳句教室』（朝日出版社）、第一句集復刻『伊月集 龍』（朝日出版社）、『夏井いつきの美しき、季語と日本語』（ワニブックス）。

受け継がれる文武両道

凍たり
燦たり



JR オリンピック春季水泳競技女子 CS 100 m背泳ぎ 第2位
 2016 ドイツカデ国際柔道大会 57kg 級 第3位
 全国総体（インターハイ）73名出場 全国総体ボート競技シングルスカル 第2位
 愛媛県総体 9種目優勝 391名出場
 全国高校軟式野球選手権大会出場 全国高校野球選手権愛媛大会準優勝
 全国高等学校将棋竜王戦福岡大会出場 全国高文祭将棋部門女子個人戦出場
 全日本吹奏楽コンクール愛媛県大会高等学校B部門金賞



部 会 の ご 案 内

1 私学経営部会

時代を先取りする学校づくり

2 教育課程部会

輝く未来を築くための私学教育の質的充実に向けて

3 法人管理事務運営部会

学校を取り巻くリスクとその対応
～坂の上の雲のまちからの発信～

4 特色教育部会

私学にこそできる特色教育の実践

5 生徒指導部会

いつでも、どこでも、誰でもできる声かけ生徒指導

6 学習及び進路指導部会

こころざし高く未来を拓く生徒の育成を目指して

各部会の日程、内容等については次ページ以降に掲載しています。
参加ご希望の部会を申込書記入欄にご記入のうえお申し込み下さい。
なお、募集定員に達しましたら締め切りとなる場合がありますので、
予めご了承下さい。

1 私学経営部会

10 年から 20 年後には、AI（人工知能）やロボットなどの技術開発で、世界の職業の約半数が新しい職種に取って代わられると推定されており、現代の子どもたちの 65 %が、大学卒業時には、今は存在しない職業に就くだろうとも言われている。

そのような将来に向けて求められるイノベーティブな人材は、生徒たちが本来持っている創造力などの優れた資質を、可能な限り伸ばそうとする教育から生まれるのではないかと。

厳しい経営環境の中であっても、あらたな時代の変化を見極め、それぞれの建学の精神に立脚して、生徒たちの可能性を高めていく特色ある教育の展開に努めることが、時代を先取りする学校づくりの要諦であろう。

当部会では、講演と研究討議を通して、新しい教育を実現する人材育成と学校経営を探究する方向性が示され、それぞれの私学がどのように進むべきかを考える機会となることを期待したい。

1 研究目標 時代を先取りする学校づくり

2 募集人員 150名

3 日程

時間 月日	9	10	11	12	13	14	15	16	17
	15	45					45		
10月20日 (金)	受付	開 会 式	講 演 I	講 演 II	昼 食	パネル・ ディスカッション		閉 会 式	

4 内 容

講演 I

演 題 「教育改革と新しい教育観」

～高大接続改革などがめざす、教育の質的転換の方向性とその課題を探る～

講 師 長 塚 篤 夫 順天中学・高等学校 校長
文部科学省有識者会議委員（高大接続改革）

講演 II

演 題 「建学の精神『自立協同』の進化と未来を拓く教育への取り組み」

講 師 村 崎 正 人 学校法人村崎学園 理事長

パネル・ディスカッション

テーマ 「時代を先取りする学校づくり」

パネリスト	岡 豊	学校法人松山聖陵学園 理事長 愛媛日産自動車株式会社 代表取締役社長
	實 吉 幹 夫	東京女子学園中学・高等学校 理事長・校長
	真 城 義 麿	学校法人真宗大谷学園 専務理事
コーディネーター	野 原 明	教育ジャーナリスト 元NHK解説委員

5 講師・パネリスト・コーディネーター（順不同）

長 塚 篤 夫	(順天中学・高等学校 校長)
	(文部科学省有識者会議委員(高大接続改革))
村 崎 正 人	(学校法人村崎学園 理事長)
岡 豊	(学校法人松山聖陵学園 理事長)
	(愛媛日産自動車株式会社 代表取締役社長)
實 吉 幹 夫	(東京女子学園中学・高等学校 理事長・校長)
真 城 義 麿	(学校法人真宗大谷学園 専務理事)
野 原 明	(教育ジャーナリスト・元NHK解説委員)

6 講師（パネリスト）プロフィール

岡 豊

松山東高等学校、慶応義塾大学卒業後、日産自動車株式会社に入社。10年間の勤務の後、父親の経営する城西自動車学校、愛媛日産自動車の経営に携わり、現在、代表取締役社長を務める。平成23年5月より、同じく父親が経営していた松山聖陵高等学校の理事長に就任し、現在に至る。また、日産愛媛自動車大学の校長も兼務しており、年に数回学生に対し、講義を行っている。

2 教育課程部会

2016 年 3 月末に高大接続システム改革会議の「最終報告」がなされ、高等学校教育・大学教育・大学入学者選抜の一体的改革の具体策と、新たな時代に向けて子どもたちが身に付けるべき資質や能力が示された。そこには、学力の 3 要素、即ち、十分な知識・技能を基盤に、答えが一つに定まらない問題に自ら解を見いだしていく能力（思考力・判断力・表現力）や、主体性を持って多様な人々と協働して学び、人生を切り拓く態度の重要性が挙げられている。

そして、同年 12 月 21 日の中央教育審議会答申「幼稚園、小学校、中学校、高等学校及び特別支援学校の学習指導要領等の改善及び必要な方策等について」では、2020 年から 2030 年の社会と子どもたちの将来を見据え、学校教育の改善・充実に向けて、「何を教えるか」ととどまらず「何ができるようになるか」、「何を学ぶか」、「どのように学ぶか」という新しい視点からの豊かな学びとカリキュラム・マネジメントの実現等が求められている。

これらを踏まえて、主体的・対話的で深い学び（アクティブ・ラーニングの視点で）に関する基調講演と、高大接続改革や次期学習指導要領改訂についての講演を行い、実践発表では、ICT 活用教育、アクティブ・ラーニングを取り入れた授業研究、及び学校改革について、三校の取り組みをそれぞれ紹介する。

当教育課程部会が、生徒たち一人ひとりの将来が輝くものになるよう、私学教育の質的充実の一助となれば幸いである。

1 研究目標 輝く未来を築くための私学教育の質的充実に向けて

2 募集人員 110 名

3 日 程

時間 月日	9	15	10	45	11	45	12	13	14	15	45	16	17
10月20日 (金)	受 付	開 会 式	基 調 講 演		講 演		昼 食		実 践 発 表 I・II・III			閉 会 式	

4 内 容

基調講演

演 題 「アクティブ・ラーニングをどう理解し、組織的に実践するか
～教師と生徒がともに学び成長する学校へ～」

講 師 山 田 剛 史 京都大学高等教育研究開発推進センター 准教授

講 演

演 題 「成熟社会に相応しい教育課程と学習指導要領改訂」

講 師 淵 上 孝 文部科学省初等中等教育局教育課程課 課長

※文部科学省人事異動により講師が変更になりました。

実践発表Ⅰ

テーマ 「教育環境の変化と対応～校内ICT化へ向けた実践報告～」

発表者 平 原 澄 夫 聖カタリナ学園高等学校 教頭

実践発表Ⅱ

テーマ 「アクティブ・ラーニングの実践報告
～AL授業タイプと国語とICTの相性～」

発表者 斎 藤 貢 市 芝浦工業大学附属中学・高等学校 教諭

実践発表Ⅲ

テーマ 「21世紀型能力の育成に向けて
～SMILEプログラムによる学校改革への挑戦～」

発表者 浜 屋 陽 開星中学・高等学校 教頭

5 講師・発表者（順不同）

山 田 剛 史（京都大学高等教育研究開発推進センター 准教授）

淵 上 孝（文部科学省初等中等教育局教育課程課 課長）

平 原 澄 夫（聖カタリナ学園高等学校 教頭）

斎 藤 貢 市（芝浦工業大学附属中学・高等学校 教諭）

浜 屋 陽（開星中学・高等学校 教頭）

6 講師プロフィール

山 田 剛 史

1977年12月、大阪府大阪市生まれ。【学歴】履正社高等学校、関西外国語大学外国語学部卒業、大阪教育大学大学院教育学研究科（教育学（修士））、神戸大学大学院総合人間科学研究科修了（学術（博士））。【職歴】京都大学高等教育研究開発推進センター教務補佐員、島根大学教育開発センター専任講師・副センター長・准教授、愛媛大学教育・学生支援機構教育企画室准教授・副室長を経て、2015年4月より京都大学高等教育研究開発推進センター（大学院教育学研究科兼任）准教授。【専門】青年心理学、高等教育研究・開発。【研究テーマ】大学生の学びと成長を促す教育・学習環境のデザインと評価。【著書】『大学生の主体的学びを促すカリキュラム・デザインーアクティブ・ラーニングの組織的展開にむけてー』（編著）、『学生と楽しむ大学教育』（分担）、『新・青年心理学ハンドブック』（分担）、『生成する大学教育学』（分担）など。【社会活動】文部科学省「大学教育再生加速プログラム」専門委員、高等教育質保証学会評議員、大学教育学会代議員、東山中学・高等学校「学習力強化プロジェクト特別委員会」委員など。【受賞】島根大学優良教育実践表彰、大学教育学会会長特別賞。

3 法人管理事務運営部会

近年、大規模自然災害の発生や学校を標的にした情報漏洩事件など、学校運営における広範囲な危機管理の重要性は、年々増すばかりである。

当部会では、午前の講演では自然災害における不測の事態に備える組織体制のあり方やトラブル発生時の迅速かつ適切な対処方法を考察するとともに、多発している情報管理のトラブルや情報セキュリティマネジメントの最新事例を学び、情報全般の取り扱い方についての知見を広める。

午後からは、情報交換会において、各校の抱える災害マネジメントや情報セキュリティマネジメントに関わる問題等をグループごとでオープンに話し合い、互いに実践例を学ぶ。また、当大会の開催地である松山で情報発信を行い、地方都市の再生・活性化に向け取り組む「坂の上の雲ミュージアム」の初代館長の講演を聴講し、地方の私学にとって大きなリスク要因となっている生徒数の減少等に対する改革・改善への示唆を得る。加えて、愛媛県の済美高等学校が、宮城県複数の高校との交流等を通じて行っている、リスク対応としての継続的な震災学習を取り上げ、独自のキャリア教育の実践例として報告する。

これらのプログラムを通して、自然や人為的なリスクへの対応の理解を深め、私学として、今後の取り組みについて再考する一助となれば幸いである。

- 1 研究目標 学校を取り巻くリスクとその対応
～坂の上の雲のまちからの発信～
- 2 募集人員 60名
- 3 日 程

時間 月日	9	10	11	12	13	14	15	16	17
	15	40	10	50	30				
10月20日 (金)	受付	開 会 式	講 演 I	講 演 II	昼 食 ・ 情報交換会	講 演 III	実 践 発 表	閉 会 式	

4 内 容

講演 I

演 題 「災害リスクと学校・地域の防災対策」

講 師 紅 谷 昇 平 兵庫県立大学大学院減災復興政策研究科 准教授

講演 II

演 題 「サイバーセキュリティ 安心安全な教育環境の確保」

講 師 小 林 真 也 愛媛大学大学院理工学研究科 教授

情報交換会

テーマ 「学校を取り巻く諸問題」

①講演をうけての意見交換【例：災害対策備蓄品（食料等）について】

②事務の効率化・省力化への取り組みについて

③事務組織と教員組織の相互理解・一体化への取り組みについて

※7グループ程度（1グループ9名程度）に分かれて行います。

※名刺交換を行いますので名刺をご持参下さい。

講演Ⅲ

演題 「地方からの情報発信～坂の上の雲を軸としたまちづくり～」

講師 松原正毅 松山市坂の上の雲ミュージアム 初代館長

実践発表

テーマ 「キャリア教育を通じた震災学習の取り組み」

発表者 高市裕子 済美高等学校 キャリア教育課長

5 講師・発表者（順不同）

紅谷昇平（兵庫県立大学大学院減災復興政策研究科 准教授）

小林真也（愛媛大学大学院理工学研究科 教授）

松原正毅（松山市坂の上の雲ミュージアム 初代館長）

高市裕子（済美高等学校 キャリア教育課長）

6 講師プロフィール

紅谷昇平

2013年3月まで「人と防災未来センター」にて防災の研究、実務、研修に携わり、2016年3月まで神戸大学社会科学系教育研究府特命准教授、2016年4月より兵庫県立大学防災教育研究センター（大学院減災復興政策研究科兼任）准教授、現在に至る。学部生向けの講義「災害リスクマネジメント」、「社会特性と減災復興」、大学院生向けの講義「災害対応マネジメント」、「企業防災と事業継続」などを担当し、防災・復興分野の専門人材の育成にあたっている。現在の主な研究テーマは、自治体の災害対応体制や災害時の避難所運営、産官民が連携した地域防災、コミュニティ復興であり、自治体や地域の防災計画づくりの支援活動にも取り組んでいる。

小林真也

大阪大学工学部通信工学科卒業、同大工学研究科博士課程修了（工学博士）。金沢大学工学部電気・情報工学科助手、講師、助教授、同大大学院助教授、愛媛大学工学部情報工学科助教授を経て、愛媛大学工学部教授。現在は、愛媛大学大学院理工学研究科電子情報工学専攻教授。愛媛県本人確認情報保護審議会会長、サイバーセキュリティシンポジウム道後（SEC道後）実行委員長、愛媛県公衆無線 LAN 推進協議会会長。

【講演内容】サイバー攻撃やサイバー犯罪、不用意な情報漏洩など、サイバー空間上での安心安全の問題は、特別な世界の事柄ではありません。組織としての学校や法人、また、教職員や生徒といった個人が危険にさらされています。サイバー犯罪や事件の中でも、教育環境への脅威となる事案の紹介とその脅威から守る対策について解説します。

松原正毅

広島県生まれ松山市育ち。愛光高等学校卒業。京都大学文学部（考古学）卒業、同大大学院文学研究科修士課程修了、同大大学院文学研究科博士課程中退。同大人文学研究所助手、国立民族学博物館助教授、同館第一研究部教授、同館地域研究企画交流センター長、同館民族社会研究部教授を経て、2005年同館退職、同館名誉教授、総合研究大学院大学名誉教授となる。2007年4月より2017年3月まで坂の上の雲ミュージアム館長を務める。

4 特色教育部会

公立学校の私学化が始まって久しい。全国に設置された中等教育学校はその最たるものであるが、学科やコース、或いはカリキュラムの設定などについても私立の実施例を参考にした改変が目立つ。これらのことは、私立学校の先見性の高さを物語るものでもある。

そもそも、私立学校が備えている柔軟でかつスピード感のある対応力は、公立校に比して格段に優っている。したがって、私立学校の役割のひとつには、社会情勢の変遷を的確に捉え、速やかな計画の立案とその実行を積極的に意図することがある。その観点において、私学教育の特色は時代の先取りや時流への即応において出すことが可能であり、今回の基調講演と 3 つの研究発表はいずれも私学ならではの着想が基盤となっている。当然、私立学校の在り方はその立地環境により大きな影響を受けることから、単純な先行例の模倣では多くの収穫は望めない。しかしながら、発表内容の細部における何点かでも、各校がさらなる新機軸を考える上でのヒントにいただければ幸いである。

1 研究目標 私学にこそできる特色教育の実践

2 募集人員 60名

3 日 程

時間 月日	9	15	10	11	12	13	14	15	16	17
10月20日 (金)	受付	開 会 式	基 調 講 演	研 究 発 表 Ⅰ	昼 食	研究発表Ⅱ・Ⅲ			全 体 会 議	閉 会 式

4 内 容

基調講演

演 題 「『知識偏重』の学びから『論理創造型』の思考力へ!!」

講 師 平方邦行 工学院大学附属中学・高等学校 校長

研究発表Ⅰ

テーマ 「高校卒業年の9月に美容師免許状が取得可能となる教育課程」

発表者 紙 本 彰 今治明德高等学校 教諭

発表者 足 立 維 史 今治明德高等学校 非常勤講師

研究発表Ⅱ

テーマ 「高大連携教育の具体的な取り組み」

発表者 横山博文 聖カタリナ学園高等学校 教頭

研究発表Ⅲ

テーマ 「専門学校と連携したキャリア教育の実践」

発表者 岡部敬介 未来高等学校 教諭

全体会

テーマ 「私学にこそできる特色教育の実践」

5 講師・発表者（順不同）

平方邦行（工学院大学附属中学・高等学校 校長）

紙本 彰（今治明德高等学校 教諭）

足立 維史（今治明德高等学校 非常勤講師）

横山博文（聖カタリナ学園高等学校 教頭）

岡部敬介（未来高等学校 教諭）

6 基調講演について

21世紀社会は過去の経験を当てはめるだけでは解決できない混沌とした世界、AI社会がもたらす不確実性の時代は、「知識偏重」の学びから「論理創造型」の思考力を育てる学びへシフトする必要がある。生徒にはICTを活用したPBL（課題解決型）やPIL（対話型）の学びを通じ、柔軟な対応力と創造力が備わった自己肯定感を持てる若者へと成長して欲しいと願っている。そして、グローバル市民として活躍するために必要な英語の運用力を習得し、コミュニケーション力やプレゼンテーション力を身に付けることが重要である。私立学校は未来に備える多様なプログラムを通じ、生徒が自らの道を切り拓く教育を模索することが求められている。

5 生徒指導部会

昨今、ソーシャルネットワークシステムの発達、核家族化等により、人とのコミュニケーションを図る手段が多様化し、生徒に対して声をかける重要性、教師とのコミュニケーションをとる大切さを理解させるべく、どの教師も声かけ指導を行っているであろうと考える。

当部会では、生徒に声かけをすることにより当該生徒の考え方、気持ちの変化、生活状況を把握し、問題行動の未然防止につながることを生徒指導のあり方とし、事例発表を通して生徒指導のあり方を共有したい。

- 1 研究目標 いつでも、どこでも、誰でもできる声かけ生徒指導
- 2 募集人員 60名
- 3 日 程

時間 月日	9	10	11	12	13	14	15	16	17
		15	30	50	50	15	45		
10月20日 (金)	受付	開 会 式	講 演 I	講 演 II	昼 食	事 例 発 表 I	事 例 発 表 II	閉 会 式	

4 内 容

講演 I

演 題 「夢の実現～さらにその先へ」

講 師 澤 野 大 地 日本大学スポーツ科学部スポーツ学科 専任講師

講演 II

演 題 「心豊かな人間に育てる～人生を懸けた柔道指導～」

講 師 浅 見 三喜夫 新田高等学校 教頭

事例発表 I

テーマ 「学校生活への不適応未然防止にむけて」

～自己理解・個別支援・成功体験を通じた取組～

発表者 長 者 美 里 学校法人光華女子学園 学園長補佐（小中高担当）

事例発表 II

テーマ 「生徒観察からはじまる声かけ指導」

発表者 青 野 隆 義 今治明德高等学校 主幹

5 講師・発表者（順不同）

澤 野 大 地（日本大学スポーツ科学部スポーツ学科 専任講師）

浅 見 三喜夫（新田高等学校 教頭）

長 者 美 里（学校法人光華女子学園 学園長補佐(小中高担当)）

青 野 隆 義（今治明德高等学校 主幹）

6 講師プロフィール

澤 野 大 地

1980年大阪生まれ、千葉県在住。陸上競技・棒高跳の現日本記録保持者（5m83）。初出場となった2004年アテネオリンピックでは、日本人として20年ぶりに決勝進出。2008年北京オリンピックは予選16位。2012年、ロンドンオリンピックの参加標準記録 A（5m72）をクリアしていながら、まさかの代表落選。一大会置いて出場した2016年リオデジャネイロオリンピックで見事決勝に進み、日本人として64年振りに7位入賞を果たした。現在は富士通陸上競技部に所属し競技を続けながら、日本大学スポーツ科学部では専任講師も務めている。

今回の講演では「夢の実現～さらにその先へ～」というテーマのもと、自身が棒高跳と出会ったきっかけから日本一になるまで、またオリンピックという夢をいつから目指し始めてオリンピック選手になったか、さらにはリオデジャネイロオリンピックにて結果を残すまでの道のり、さらにこの先目指しているものについて紹介する。目標の立て方や、怪我をしたとき、挫折からの立ち直り方などを、様々なポイントでかけられた言葉、心に残っている言葉、意識が変わった言葉を交えてお伝えできればと思う。

7 講演Ⅱについて（新田高等学校の紹介）

新田高等学校

建学の精神「健全有為な人材の育成を目指す」をより所に、生徒一人ひとりの個性を伸長させ、明日の社会に貢献できる有為な人材の育成を図ることを教育方針としている。新田高校が見据えるものは、生徒一人ひとりの将来である。人格形成を図る上で最も貴重な高校時代を眩しいくらい輝かしく生きること、生徒一人ひとりの希望する卒業後の将来へ導くこと、そして長い人生を生きる彼らに生きる力を与えることだと考えている。そのため教科指導や進路指導はもちろん、日々の生活においても人間教育を重視している。創立以来、部活動では輝かしい実績を上げているが、それは人間教育の一つの成果と思っている。目標に向かって自主性を持って練習に取り組み、努力を積み上げ、仲間と協調しながら、喜びを共有する。このプロセスはクラブ活動だけでなく、教科指導にも活かされている。この経験は生徒がいずれ社会に出たときに、必ず活かされることだと信じている。

今回の講演では、柔道部の顧問として、長年、同校の教育を実践してきた浅見三喜夫教頭が実践報告を交えながら、同校の教育を紹介したいと考えている。

6 学習及び進路指導部会

高大接続改革により、現行の大学入試センター試験に替わる新テストを初めて受験する生徒がいよいよ来年度、高校に入学（中等教育学校後期課程に進級）してくる。大学入学者選抜がかつてのような知識量を問う入試から思考力・判断力・表現力を中心に多様な能力・資質を問う総合的な仕組みへと変わっていく中で、学校現場が求められる資質・能力とは何か、それをどのように育成し評価していくのかを考え、試行錯誤し続ける必要があるだろう。

これからの時代は、生産年齢人口の減少、グローバル化の急速な進展や絶え間ない技術革新等、めまぐるしく変化し、先を見通すことが難しい。そのような状況の下で、自分の将来を切り拓き、進路選択のできる生徒、自立した人間として言語や文化が異なる他者と協働できる生徒を育成することが学校教育に求められている。

特に、主体的かつ共働的な学びをより重視する意識の変革が必要であり、授業内外、学校内外での学習支援も必要である。当部会では、変化が大きく、予測不可能な未来に自分を託せる生徒を育てる指導について、意見を交わし、考える場にしていきたい。また、地域づくりに取り組んでおられる加戸氏に講演いただき、未来の担い手に何を教えるべきかを考えていく場にもしたいと考えている。

- 1 研究目標 ころろざし高く未来を拓く生徒の育成を目指して
- 2 募集人員 60名
- 3 日 程

時間 月日	9		10	11	12	13	14	15	16	17
	9	15		45			20		45	
10月20日 (金)	受 付	開 会 式	講 演	研 究 発 表 I	昼 食	研 究 発 表 II		研 究 発 表 III	閉 会 式	

4 内 容

講演

演 題 「わがまちを愛し、誇れるまちづくりを
～みんなでつくろう松山のまち～」

講 師 加 戸 慎太郎 株式会社まちづくり松山 代表取締役社長

研究発表 I

テーマ 「論文活動を通じた進路指導」

発表者 中 矢 尚 済美平成中等教育学校 教諭

研究発表Ⅱ

テーマ 「進路指導と I C T 教育」

発表者 和田 誠 愛光中学・高等学校 教諭

研究発表Ⅲ

テーマ 「中高一貫校におけるグローバル力の育成」

発表者 藤本 尚嗣 新田青雲中等教育学校 教諭

5 講師・発表者（順不同）

加戸 慎太郎（株式会社まちづくり松山 代表取締役社長）

中矢 尚（済美平成中等教育学校 教諭）

和田 誠（愛光中学・高等学校 教諭）

藤本 尚嗣（新田青雲中等教育学校 教諭）

6 講師プロフィール

加戸 慎太郎

松山市生まれ。愛光中学・高等学校から慶応義塾大学へ進学。卒業後、ゴールドマン・サックス証券株式会社に勤務。平成21年に株式会社とかげや代表取締役社長に就任。松山銀天街商店街(振)理事長、㈱まちづくり松山代表取締役社長、一般社団法人お城下松山理事長などを務める。まちづくりを通して各世代の連携を推進し、積極的な人材育成に取り組んでいる。

運営委員・専門委員・客員研究員一覧

全体集会

●運営委員・指導員（順不同）

運営委員長 谷本 勝幸 帝京第五高等学校校長	木村 克人 帝京富士中学・高等学校教頭
	後藤 善明 帝京第五高等学校教諭
副運営委員長 松満 幹生 帝京富士中学・高等学校校長	谷本 眞由美 帝京第五高等学校教諭
	平井 一博 帝京富士中学・高等学校教諭
満尾 大二 帝京第五高等学校教頭	

1 私学経営部会

●運営委員・指導員（順不同）

運営委員長 渡部 正治 松山聖陵高等学校校長	西岡 信次 松山聖陵高等学校教諭
	高橋 慎吾 松山聖陵高等学校教諭
副運営委員長 河野 大助 松山城南高等学校校長	向井 沙織 松山聖陵高等学校教諭
	大野 仁 松山城南高等学校教諭
川原 學 松山聖陵高等学校教頭	竹内 強 松山城南高等学校教諭
永井 和義 松山城南高等学校教頭	

●専門委員・客員研究員・指導員（順不同）

専門委員長 長塚 篤夫 順天中学・高等学校校長	梅村 光久 学校法人梅村学園松阪法人分室長
	摺河 祐彦 兵庫県播磨高等学校校長
副専門委員長 鈴木 康之 水戸女子高等学校理事長・校長	新田 光之助 筑陽学園中学・高等学校理事長・高校長
	野原 明 文化学園大学杉並中学・高等学校名誉校長
實吉 幹夫 東京女子学園中学・高等学校理事長・校長	真城 義麿 学校法人真宗大谷学園専務理事
木内 秀樹 東京成徳大学中学・高等学校理事長・校長	

2 教育課程部会

●運営委員・指導員（順不同）

運営委員長 谷本 賢治 松山東雲中学・高等学校校長	越智 聖司 新田高等学校教諭
	松原 浩 新田高等学校教諭
副運営委員長 藤田 繁治 新田青雲中等教育学校校長	高橋 裕一郎 松山東雲中学・高等学校教諭
	高橋 結 松山東雲中学・高等学校教諭
三浦 裕治 松山東雲中学・高等学校教頭	今村 早希 松山東雲中学・高等学校教諭
山橋 史仁 新田高等学校教頭	

●専門委員・客員研究員・指導員（順不同）

専門委員長 清水 哲雄 学校法人鷗友学園理事長	大多和 聡宏 開星中学・高等学校理事長・校長
	助川 幸彦 学校法人村田学園副理事長
鈴木 弘 香蘭女学校中等科・高等科校長	山本 与志春 学校法人青山学院常務理事
北村 聡 京都外大西高等学校校長	

3 法人管理事務運営部会

●運営委員・指導員（順不同）

運営委員長 末 廣 久 行 済美高等学校校長	岡 本 一 夫 済美高等学校事務長
	高 橋 寅 明 愛光中学・高等学校事務長
副運営委員長 永 井 康 博 済美高等学校副校長	門 田 尚 明 済美高等学校教諭
	森 誠 二 済美高等学校教諭
一 色 康 孝 愛光中学・高等学校教頭	北 岡 周 平 済美高等学校事務職員

●専門委員・客員研究員・指導員（順不同）

専門委員長 工 藤 誠 一 聖光学院中学・高等学校理事長・校長	服 部 泰 啓 学校法人信愛学園理事長
	川 島 英 和 学校法人川島学園理事長
野 尻 富太郎 学校法人芝学園常務理事・事務局長	正 村 幸 雄 学校法人鹿児島学園理事長

4 特色教育部会

●運営委員・指導員（順不同）

運営委員長 芳 野 敬 三 聖カタリナ学園高等学校校長	井 上 幸 治 未来高等学校教頭
	山 本 勇 未来高等学校教諭
副運営委員長 大 嶋 治 未来高等学校校長	山 本 拓 哉 未来高等学校教諭
	渡 部 友 章 聖カタリナ学園高等学校教諭
金 子 秀 樹 未来高等学校副校長	曾我部 勝 博 聖カタリナ学園高等学校教諭
横 山 博 文 聖カタリナ学園高等学校教頭	竹 田 忍 聖カタリナ学園高等学校教諭

5 生徒指導部会

●運営委員・指導員（順不同）

運営委員長 濱 元 一 馬 今治明德中学・高等学校校長	高 橋 啓 二 今治明德中学・高等学校副校長
	青 野 隆 義 今治明德中学・高等学校教諭
副運営委員長 中 井 清 今治精華高等学校校長	菅 野 耕 太 今治明德中学・高等学校教諭
	佐 伯 昌 彦 今治精華高等学校教諭
大久保 成 道 日本ウェルネス高等学校教頭	塩 崎 昌 幸 今治精華高等学校教諭

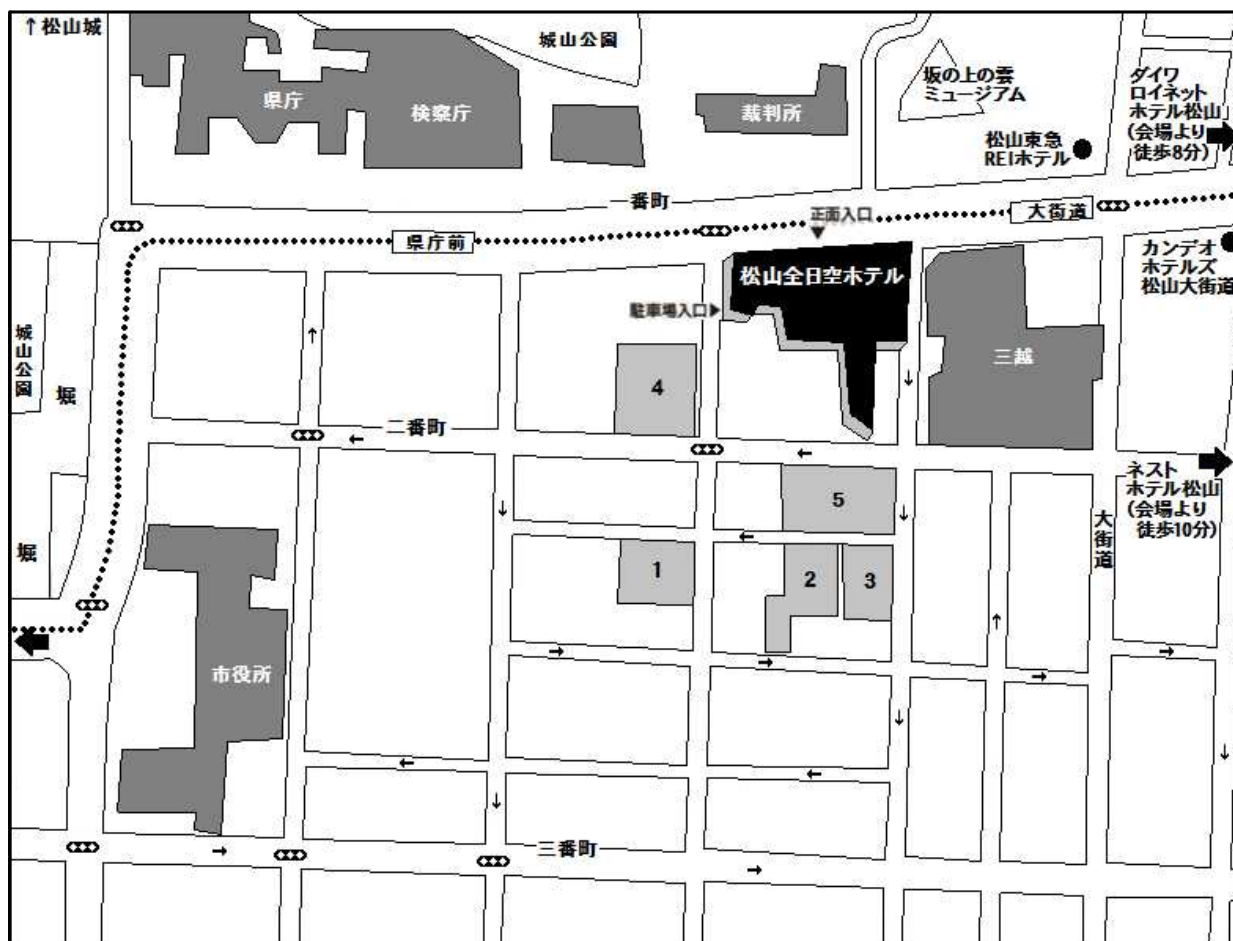
6 学習及び進路指導部会

●運営委員・指導員（順不同）

運営委員長 窪 田 利 定 済美平成中等教育学校校長	美濃子谷 知行 済美平成中等教育学校教諭
	谷 本 康 知 済美平成中等教育学校教諭
副運営委員長 中 井 美 幸 新田青雲中等教育学校教頭	藤 本 尚 嗣 新田青雲中等教育学校教諭
	高 橋 久美子 新田青雲中等教育学校教諭
中 矢 尚 済美平成中等教育学校教諭	相 原 彩 乃 新田青雲中等教育学校教諭
飯 田 惇 弥 済美平成中等教育学校教諭	

会場のご案内

「松山全日空ホテル」(愛媛県松山市一番町3丁目2-1 電話 089-933-5511)



※**1**～**5**は松山全日空ホテルの契約駐車場。料金・割引につきましては松山全日空ホテルのホームページをご覧ください。[\(http://www.anahotelmatsuyama.com/\)](http://www.anahotelmatsuyama.com/)

- 松山空港から 空港リムジンバス (道後温泉方面) 約30分「大街道」下車徒歩1分
- J R松山駅から 伊予鉄道 (道後温泉方面) 約10分「大街道」下車徒歩1分

※松山空港からの空港リムジンバスは、飛行機の発着に合わせて運行しており、混雑時は満席になる場合がございますので、ご注意下さい。

空港リムジンバスは道後温泉行のバスに乗車して下さい。

道後温泉行の他に松山市駅行のバスがありますが「大街道」には停車しません。

松山市駅行のバスに乗車した場合は、「JR 松山」駅あるいは終点の「松山市」駅(伊予鉄道「松山市駅前」で下車し、伊予鉄道(道後温泉方面)に乗り換え、「大街道」駅で下車して下さい。

松山市駅行の空港バスは JR 松山駅を經由いたします。

参加申込みと参加費の納入について

1 参加申込み方法

- (1) 別紙「平成 29 年度 全国私学教育研究集会愛媛大会 参加申込書」に必要事項を記入し、下記申込み先に FAX または郵送でお送り下さい。電話での申込みは受け付けません。

① 申込み先

一般財団法人日本私学教育研究所「全国私学教育研究集会愛媛大会 事務局」宛
(担当：高山・田淵)
〒102-0073 東京都千代田区九段北 4-3-8 市ヶ谷 UN ビル 6 階
電話 03-3222-1621 FAX03-3222-1683 ホームページ <http://www.shiagku.or.jp/>

② 申込締め切り日 平成 29 年 10 月 6 日 (金) (必着)。

- (2) 2 日間のご参加を原則としておりますが、やむを得ず全体集会のみに参加する場合は、「全体集会のみの参加」欄に○印を記入して下さい。(参加費は変わりません。)
- (3) 申込みは先着順に受け付けますので、募集人員を超えた場合は期日前でも締め切りとなることがあります。(申込みを締め切った場合は当研究所ホームページでお知らせ致します。)
- なお、部会によっては、募集定員を超えた場合に締め切らせて頂く場合がございますので、希望する部会は必ず第 2 希望まで○印を記入して下さい。
- (4) 参加申込書受付後、「参加確認証」と「参加費等請求書 (コンビニ払込用紙)」を参加申込書の「関係書類送付先」宛にお送り致します。「参加確認証」は、研修会当日受付にご提示下さい。参加確認証および参加費の請求書・払込票は一括して「関係書類送付先」宛にお送り致します。(関係書類送付先が未記入の場合は No. 1 記載の参加者にお送り致します。)

※申込み後 2 週間以内に上記書類が届かない場合は、必ず電話にてご確認下さい。

教育懇談会・宿泊のお申込み

(参加費には教育懇談会費・宿泊費は含まれておりません。)

「教育懇談会・宿泊の申込みについてのご案内」(p.26 ~ 28) をお読みいただき、JTB ビジネスネットワーク 全国私学教育研究集会受付デスクにお申込み下さい。【10 月 6 日(金)締め切り】

2 参加費

参加費は、1 人 **15,000 円** です。(10 月 20 日の昼食費が含まれます。)

3 参加費申込み後の手続き及び注意事項

- (1) 参加費は、「参加費等請求書」(コンビニ払込用紙) で、指定されたコンビニエンスストアでお振り込み下さい。参加費等の領収書は「払込受領証」をもって代えさせていただきますので、大切に保管して下さい。
- (2) 参加申込み後のキャンセル・変更等については、必ず FAX にて日本私学教育研究所へご連絡下さい。
- ① キャンセルの場合は、「キャンセル確認書」を FAX にて返信致します。
- ② 変更の場合は、「参加確認証 (再発行)」を郵送致します。
- ご連絡後に上記書類が届かない場合は、必ず電話にてご確認下さい。
- (3) 参加費の返金・キャンセル料は下記の取り扱いと致します。

10 月 12 日(木)まで	10 月 13 日(金)以降及び無断欠席
事務手数料 1,000 円を差し引いた参加費	返金はありません。研修会資料等の発送をもって代えさせていただきます。参加費未払いの場合は、キャンセル料として参加費全額を申し受けます。天変地異・自然災害によるキャンセルの場合は状況により対応しますのでご相談下さい。

4 個人情報の取り扱いについて

当研究所では、参加者の個人情報は、厳重に管理・保護の上、その取り扱いについては、法令その他の規範を遵守し、細心の注意を払います。参加申込書にご記入頂く個人情報は、参加確認証および大会参加のために必要な書類の送付、参加者名簿の作成、当研究所の研修会開催等情報の送付、また何らかの理由で大会の参加者に連絡する必要があるが生じた場合のみに利用致します。

○ 傷害保険について

当研修期間中の参加者等の傷害保険には加入致しませんのでご承知置き下さい。

教育懇談会・宿泊の申込みについてのご案内

この度は、「平成 29 年度全国私学教育研究集会愛媛大会」が松山市にて開催されますことを心よりお喜び申し上げます。

大会の開催にあたり、ご参加の皆様の教育懇談会および宿泊の斡旋をさせて頂くことになりました。今大会の成功を祈念し、円滑な大会の運営業務のお手伝いをさせて頂くことをお約束致しまして、皆様のご参加を心よりお待ちしております。

教育懇談会

【1】教育懇談会のお申込みについて

◇ 1 日目（10 月 19 日）の全体集会終了後、下記のとおり、教育懇談会を行います。

◇ 参加をご希望の方は、平成 29 年 10 月 6 日(金)までに、JTB ビジネスネットワーク全国私学教育研究集会受付デスクへお申込み下さいますようお願い致します。

日 時：10 月 19 日(木) 18 時 00 分～19 時 30 分

会 場：松山全日空ホテル 本館 4 階 ダイヤモンド ボールルーム

参加会費：8,000 円

募集定員：250 名（定員を超えた場合は、期日前でも締め切らせて頂く場合がございます。）

【2】お申込み方法について

① 教育懇談会のお申込みは、「教育懇談会・宿泊申込書」に必要事項をご記入の上、平成 29 年 10 月 6 日(金)までに、JTB ビジネスネットワーク全国私学教育研究集会受付デスクまで FAX（03-5396-8140）にてお申込み下さい。

② お申込み FAX を受領後、書面もしくはお電話にて予約の可否の連絡をさせて頂きます。

③ 10 月初旬から順次「参加確認証」・「請求書」を発送致します。

※ お申込みの FAX を受領後、JTB からの連絡は、上記の予約可否の回答および、定員を超えた場合の連絡以外は致しませんので、予めご承知おき下さい。

【3】お支払い方法について

① 参加確認証・請求書が届き次第、お振込みにてお支払い下さい。（振込み手数料はお客様にてご負担下さいますようお願い申し上げます。）

② 教育懇談会当日の参加費のご精算はご遠慮下さい。

【4】変更・取り消しについて

教育懇談会の参加の変更・取り消しについては、大変お手数ですが、FAX（03-5396-8140）にてご連絡をお願い致します。研究集会に不参加（取り消し）の場合でも、教育懇談会の参加の取り消し・変更の手続きを、JTB ビジネスネットワーク全国私学教育研究集会受付デスクまでお願い致します。

※注意 10 月 10 日(火)15 時 00 分以降に不参加の連絡があった場合、一旦納入された参加費は返金できません。また、このときまでに参加費の振り込みがされていない場合も、100 %のキャンセル料を申し受けます。研究集会終了後に改めてご請求させて頂くことになりますのでご了承下さい。

【5】お申し込み・お問い合わせ先

【お問い合わせ先・受託販売】

JTB ビジネスネットワーク全国私学教育研究集会受付デスク

〒170-0013 東京都豊島区東池袋 3-23-14

ダイハツ・ニッセイ池袋ビル 7F

TEL：03-5949-1354 FAX：03-5396-8140

営業時間：月～金／9:30～17:30（土・日・祝日は休業）

【企画・実施】

JTB コーポレートセールス教育第一事業部

営業 4 課 担当：古郡・柏瀬

〒163-0431 東京都新宿区西新宿 2-1-1

新宿三井ビル 31 階 TEL：03-5909-8034

営業時間：月～金／9:30～17:30

（土・日・祝日は休業）

宿 泊

【1】宿泊のお申込みについて

- ①下表の宿泊代金は一泊朝食付き、税・サービス料込みの料金です。
- ②ツイン客室のご用意もございます。申込書に同室のお客様氏名をご記入下さい。
- ③ご希望ホテルが満室の際は、代案ホテルをご提示させていただきます。あらかじめ申込書には第 2 希望までのご記入をお願い致します。また、予約が集中した際はご希望に添えない場合もあります。その際は代案をご提示致しますので予めご承知おき下さい。また、禁煙・喫煙のご希望にも添えない場合もございます。（早期にお申込みを頂いた方から優先させていただきます。）

利用ホテル名	部屋タイプ		料金（お一人様）	申込記号
松山全日空ホテル (研修会場)	本館	シングル	11,880 円	A-1
		ツイン(1 名利用)	16,800 円	A-2
		ツイン(2 名利用) ※お一人様あたり	10,300 円	A-3
	別館	シングル	9,300 円	A-4
松山東急 REI ホテル (研修会場より徒歩 3 分)	シングル		9,180 円	B-1
	ツイン(1 名利用)		12,420 円	B-2
	ツイン(2 名利用) ※お一人様あたり		7,560 円	B-3
カンデオホテルズ松山大道 (研修会場より徒歩 4 分)	シングル		10,800 円	C-1
	ツイン(1 名利用)		11,340 円	C-2
	ツイン(2 名利用) ※お一人様あたり		9,720 円	C-3
ダイワロイネットホテル松山 (研修会場より徒歩 8 分)	シングル		10,800 円	D-1
	ツイン(1 名利用)		16,200 円	D-2
	ツイン(2 名利用) ※お一人様あたり		9,720 円	D-3
ネストホテル松山 (研修会場より徒歩 10 分)	シングル		8,500 円	E-1
	ツイン(1 名利用)		10,000 円	E-2
	ツイン(2 名利用) ※お一人様あたり		8,000 円	E-3

【2】お申込み方法について

- ①宿泊のお申込みは、「教育懇談会・宿泊申込書」に必要事項をご記入の上、10 月 6 日(金)までに、JTB ビジネスネットワーク全国私学教育研究会受付デスクまで FAX(03-5396-8140)にてお申込み下さい。
 - ②お申込みの FAX を受領後、書面、もしくはお電話にて予約可否の連絡をさせていただきます。
 - ③10 月初旬から順次「参加確認証」・「請求書」を発送致します。
- ※お申込みの FAX を受領後 JTB からの連絡は、上記の可否回答以外には致しませんので予めご承知おき下さい。

【3】お支払い方法について

- ①予約確認証・請求書が届き次第、お振込みにてお支払い下さい。（振込み手数料はお客様にてご負担下さいますようお願い申し上げます。）
- ②宿泊代金をホテルで直接精算することはご遠慮下さい。

【4】変更・取消について

- ①大変お手数ですが、FAX(03-5396-8140)にてご連絡をお願い致します。
- ②取消料金は下記をご参照下さい。

宿泊	取消日	7 日～3 日前	2 日～前日	当 日	無連絡
	取消料	30%	40%	50%	100%

【5】お申し込み・お問い合わせ先

前ページの「【5】お申込み・お問い合わせ先」をご覧ください。

＜宿泊ホテルのご案内＞

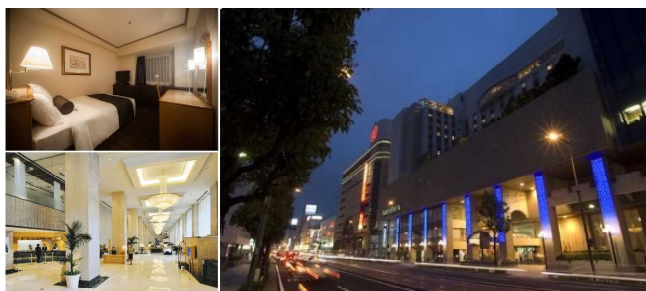
松山全日空ホテル

〒 790-8520 愛媛県松山市一番町 3-2-1

TEL 089-933-5511

チェックイン 14:00
チェックアウト 11:00

路面電車「大街道」駅前。
会場より徒歩3分



松山東急REIホテル

〒 790-0001 愛媛県松山市一番町 3-3-1

TEL 089-941-0109

チェックイン 15:00
チェックアウト 10:00

路面電車「大街道」駅前。
会場より徒歩 3 分



カンデオホテルズ松山大街道

〒 790-0004 愛媛県松山市大街道 2-5-12

TEL 089-913-8866

チェックイン 15:00
チェックアウト 11:00

会場より徒歩 4 分



ダイワロイネットホテル松山

〒 790-0001 愛媛県松山市一番町 2-6-5

TEL 089-913-1355

チェックイン 14:00
チェックアウト 11:00

会場より徒歩 8 分



ネストホテル松山

〒 790-0002 愛媛県松山市二番町 1-7-1

TEL 089-945-8111

チェックイン 14:00
チェックアウト 10:00

会場より徒歩 10 分



平成 29 年度 全国私学教育研究集会愛媛大会 参加申込書

申込み締切日：10月6日(金) ※教育懇談会は、次頁の「教育懇談会および宿泊申込書」にてお申込下さい。

申込書送付・送信先 一般財団法人日本私学教育研究所「全国私学教育研究集会愛媛大会事務局」宛 TEL03-3222-1621
FAX：03-3222-1683 (FAX 送付状は不要です。)
郵便：〒102-0073 東京都千代田区九段北 4-3-8 市ヶ谷UNビル 6 階

平成 29 年 月 日

都道府県名		学校名	
学校所在地	〒 (郵便番号は必ずご記入下さい。)		
	TEL FAX		
関係書類送付先	所属・職名		氏 名

◆すべての参加者の参加確認証および参加費の請求書・払込票は一括して「関係書類送付先」宛にお送りします。
(学校所在地欄に記載の住所にお送りします。) ※記入のない場合はNo.1 に記載の参加者にお送りします。

日私 教研 記入欄	No.	ふりがな 氏 名	(職 性) (名 別)	参加希望部会			
				※希望する部会の第1・2希望をそれぞれ○で囲んで下さい。会場の収容人数等により第2希望になる場合がございますのでご了承下さい。			
	1		(男・女)	第1希望		第2希望	
		1.私学経営 2.教育課程 3.法人管理事務運営 4.特色教育 5.生徒指導 6.学習及び進路指導 7.全体集会のみ		1.私学経営 2.教育課程 3.法人管理事務運営 4.特色教育 5.生徒指導 6.学習及び進路指導 7.全体集会のみ			
			(男・女)	第1希望		第2希望	
		1.私学経営 2.教育課程 3.法人管理事務運営 4.特色教育 5.生徒指導 6.学習及び進路指導 7.全体集会のみ		1.私学経営 2.教育課程 3.法人管理事務運営 4.特色教育 5.生徒指導 6.学習及び進路指導 7.全体集会のみ			
			(男・女)	第1希望		第2希望	
		1.私学経営 2.教育課程 3.法人管理事務運営 4.特色教育 5.生徒指導 6.学習及び進路指導 7.全体集会のみ		1.私学経営 2.教育課程 3.法人管理事務運営 4.特色教育 5.生徒指導 6.学習及び進路指導 7.全体集会のみ			
			(男・女)	第1希望		第2希望	
		1.私学経営 2.教育課程 3.法人管理事務運営 4.特色教育 5.生徒指導 6.学習及び進路指導 7.全体集会のみ		1.私学経営 2.教育課程 3.法人管理事務運営 4.特色教育 5.生徒指導 6.学習及び進路指導 7.全体集会のみ			
			(男・女)	第1希望		第2希望	
		1.私学経営 2.教育課程 3.法人管理事務運営 4.特色教育 5.生徒指導 6.学習及び進路指導 7.全体集会のみ		1.私学経営 2.教育課程 3.法人管理事務運営 4.特色教育 5.生徒指導 6.学習及び進路指導 7.全体集会のみ			

※参加者が6名以上の場合は、恐れ入りますが本用紙をコピーしてご使用下さい。なお、その際、上欄の学校名を各々に記載し、2枚目以降のNo.を6、7、・・・のように訂正して下さい。また、右欄 (No.) に1、2、・・・のように番号を記入して下さい。

No.

日私教研記入欄

〔 新規 ・ 変更 ・ 取消 〕 申込書 (該当に○を付けてください) F A X 送信日 2017 年 月 日

平成 2 9 年度 全国私学教育研究会愛媛道大会 (教育懇談会および宿泊申込書) 申込締切日： 1 0 月 6 日 (金) まで

申込先： J T B ビジネスネットワーク 全国私学教育研究会受付デスク 宛
FAX No. 0 3 - 5 3 9 6 - 8 1 4 0

ふりがな	〒		ご担当者氏名	
学校名 (団体名)	都 道 府 県		TEL: FAX:	
請求書宛先	学校・その他 ()	請求書送付先	学校・その他 ()	緊急連絡先 (当日) 電話番号 ☎ — —

教育懇談会

※教育懇談会確認書類は10月初旬から順次担当者様へ参加者全員分の参加確認証・請求書等をお送りいたします。

No.	参加者氏名（ふりがな）	職名	No.	参加者氏名（ふりがな）	職名
例	旅野 夢子（たのびの ゆめこ）	教諭	6	（ ）	
1	（ ）		7	（ ）	
2	（ ）		8	（ ）	

宿 泊 ※宿泊関係確認書類は 1 0 月初旬から順次担当者様へ予約確認証・請求書等をお送りいたします。

No.	氏名 (ふりがな)	性別	禁煙・喫煙	宿 泊				同室希望者氏名 ※ツイールーム等1室2名以上の宿泊をご希望される方は同室の方の氏名をご記入下さい。	
				10/18(木)		10/19(木)			(氏名) なし (備考)
				第一希望	第二希望	第一希望	第二希望		
例	旅野 夢子 (たのびの ゆめこ)	女	禁煙	×	×	×	×		
1	()								
2	()								
3	()								
4	()								
5	()								

※10/6 まで ※10 月初旬から順次

※申し込み受付の流れ [申し込み] → 「参加・宿泊等予約確認証・請求書」受取 [入金] → 「それぞれの確認証」をご持参ください [受付・入力]

※ J T B より送付いたします。

① ご記入漏れ・忘れにご注意ください。宿泊申し込みに関しましては、必ず第 2 希望までご記入ください。F A X を受け取った後に確認の電話をさせていただきます。

② 取消・変更の際は、この用紙に取消・変更箇所を記入して、FAX にてお送りください。

③ 代金振込みの際の控え (明細書) をもって、領収証の代わりとさせていただきます。

④ この参加申込書は、控えとして必ずお持ちください。

⑤ 5 名様以上ご一緒にお申し込みの場合は、この用紙をコピーしてお使いください。

⑥ お預かりしました個人情報につきましては、当社の社内規定ならびに個人情報保護の法律に基づき、大会運営ならびに宿泊予約に必要な場合のみ利用いたします。



- | | |
|---|--|
| 表 | 左上：正宗寺・子規堂内 水野廣徳碑（撮影：山田香奈子／愛光中学・高等学校写真部） |
| | 右上：市内電車と松山城（撮影：東 尚生／愛光中学・高等学校写真部） |
| | 左下：八幡浜魚市場（撮影：神戸愛生・愛光中学・高等学校写真部） |
| | 右下：松山城と野球拳全国大会（撮影：東 尚生／愛光中学・高等学校写真部） |
| 裏 | 上：しまなみ海道（撮影：大久保成道／日本ウェルネス高等学校教頭） |
| | 中：坊っちゃん列車（撮影：片岡芳彦／松山城南高等学校講師） |
| | 下：道後温泉（撮影：片岡芳彦／松山城南高等学校講師） |